

ドイツェ・アセット・マネジメントのアジア太平洋地域最高投資責任者(CIO)、ショーン・テイラー氏 日本株の評価は「アンダーウエート(弱気)」に置いてい
る。2018年3月時点の日本株は現在よりも小幅に下落すると見込んでいる。



米企業業績の伸びや欧州政治の落ち着き、新興国経済の力強い回復など

株価上昇継続は材料不足

を背景に世界の株価は上昇してきたが、日本株は大きく出遅れていた。円相場の高止まりや、慎重な企業業績見通しが響いたと見ている。

足元の株価上昇は出遅れ感から入っている外国人の買いによるものだが、長続きするには材料が不足している。円安も当面は見込みづらいだろう。

日本より高いリターンを得られる株式投資先は他に多くある。

掲載日 2017年6月3日 日本経済新聞 3ページ

※上記の記事使用は日本経済新聞社の許諾を得ております。